

（１）学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【平成 26 年度事業予定】

- ・ 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・ 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努める。

【平成 25 年度事業実績】

- ・ 栄養士が市内小学校を訪問し、2年生約 3,000 人を対象に食に関する指導を年 2 回実施した。

② 給食指導、給食への理解

【平成 26 年度事業予定】

- ・ 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努める。
- ・ 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行する。
- ・ 親子で参加する夏休み料理教室、学校給食をより理解してもらうことを目的とした学校給食センター見学会、農産物の生産現場や食品加工などの現場を見学する食の探検隊等を開催する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・ 「給食だより」を年 5 回発行、広報誌「いきいき」を年 1 回発行した。
- ・ 夏休み料理教室、学校給食センター見学会を 8 月に実施し、食の探検隊を 11 月に開催した。



夏休み料理教室



学校給食センター見学会

③ 試食会

【平成 26 年度事業予定】

- ・ 児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・ 56 回の開催で約 2,200 人が参加した。

④ 地場産物

【平成 26 年度事業予定】

- ・お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。

【平成 25 年度事業実績】

- ・川越産米の使用実施は約 234 t であり、使用割合は 100%となっている。
- ・地場農産物や旬の食材を導入するなど、特色ある献立の充実に努めた。（平成 25 年度は米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなど 19 品目の川越産農産物を使用した。）

⑤ 学校給食施設の整備

【平成 26 年度事業予定】

- ・藤間学校給食センターと吉田学校給食センターは老朽化が進んでいるため、施設の更新を計画的に推進していく。
- ・学校給食の安全性の向上を図るため、調理場のドライ化を推進する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・11 月に「(仮称)川越市新学校給食センター整備基本計画」を作成し、5 つの基本理念を定め各導入機能の考え方を示した。また、P F I を用いた事業手法について検討を行った。

⑥ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【平成 26 年度事業予定】

- ・安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について更に市民の皆様にご安心いただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日 3 品目程度の食材と 1 食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・563 品目の食材と 189 食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

- ・給食費は、金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、児童、生徒の保護者から徴収している。

① 学校給食費

区 分	月 額	年 額	徴収月数	給食日数	1 食当たり単価	備 考
小学校	4,000 円	44,000 円	11 か月	190 日	231 円 58 銭	平成 21 年 11 月改定
中学校	4,900 円	53,900 円	11 か月	190 日	283 円 68 銭	平成 21 年 11 月改定

② 1 食当たり単価（保護者負担額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計	備 考
小学校	47 円 38 銭	200cc 50 円 64 銭	133 円 56 銭	231 円 58 銭	平成 21 年 11 月改定
中学校	56 円 40 銭	200cc 50 円 64 銭	176 円 64 銭	283 円 68 銭	平成 21 年 11 月改定

学校給食摂取基準

- ・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成 25 年 4 月に改訂され、次のように定められている。

区 分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年 (6～7 歳)	中学年 (8～9 歳)	高学年 (10～11 歳)	
エネルギー (kcal)	530	640	750	820
たんぱく質 (g)	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 25～30%			
ナトリウム (食塩相当量) (g)	2 未満	2.5 未満	2.5 未満	3 未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450
鉄 (mg)	2	3	4	4
ビタミン A ($\mu\text{g RE}$)	150	170	200	300
ビタミン B 1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミン B 2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミン C (mg)	20	20	25	35
食 物 繊 維 (g)	4	5	6	6.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童 (6～7 歳) 70mg・(8～9 歳) 80mg・(10～11 歳) 110mg、生徒 (12～14 歳) 140mg

亜鉛……………児童 (6～7 歳) 2mg・(8～9 歳) 2mg・(10～11 歳) 3mg、生徒 (12～14 歳) 3mg

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの 1 日
- こんなにおおきくなりました！！ のこさずたべてくださいね (川越産枝豆)
- おこめにつき (川越産米)
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ (川越産とうもろこし)
- しょうゆができるまで (川越産大豆使用のしょうゆ)
- みつばの成長日記 (川越産みつば)
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！ (川越産さつま芋)
- ボーンくん (カルちゃん)

カルシウムに親しみを持ってもらう
ために生まれたキャラクター
ボーンくん



4. 教育センター Tel:049-235-7591 E-mail:kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名 称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 川越市古谷上 6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)
- (3) 沿 革
 - 昭和 56 年 8 月 1 日 川越市立教育研究所準備室を設置する。
 - 昭和 61 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を開設する。
 - 平成 12 年 4 月 1 日 川越市教育総合相談センター（リバーラ）を開設する。
 - 平成 15 年 4 月 1 日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。
 - 平成 19 年 4 月 1 日 組織改編に伴い、係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。
 - 平成 21 年 4 月 1 日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所（旧古谷東小）施設とする。
 - 平成 22 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リバーラ）を設置する。
- (4) 本年度の調査・研究
 - ① 児童生徒の学力に関する調査・研究
 - ・学力検査等の結果分析に基づく指導方法の工夫・改善に関する研究
 - ② 教育に関する 3 つの達成目標推進に関する調査・研究
 - ・取組の充実を図る指導方法の研究
 - ③ 男女平等教育に関する調査・研究
 - ・男女共同参画社会の構築に向けた指導方法の研究
 - ④ 情報教育に関する調査・研究
 - ・ICT を活用した学習指導に関する研究及び情報教育に関する資料の収集整理
 - ⑤ 小学校外国語活動に関する調査・研究
 - ・小学校外国語活動の指導計画・指導方法の研究
 - ⑥ 特別支援教育推進に関する調査・研究
 - ⑦ 不登校問題に関する調査・研究

(1) 教職員の資質向上

【平成 26 年度事業予定】

- ・経験・職能別研修、管理職等研修、奨励研修の充実を図る。

【平成 25 年度事業実績】

平成 25 年度研修会実施一覧

分類			研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数
I 基本研修	1 基礎研修	初任者研修	川越市立小学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	880
			川越市立中学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	458
			川越市立高等学校初任者研修	通年	教諭等	県	—	—
			川越市立特別支援学校初任者研修	通年	教諭等	県	—	—
			川越市立学校初任者栄養教諭研修	通年	栄養教諭	県	—	—
		新規採用等教職員研修	新規採用養護教員研修	通年	養護教諭	県	12	24
			新規採用学校栄養職員研修	通年	学校栄養職員	県	12	12
			新規採用学校事務職員研修会	4～7月	学校事務職員	県	3	25
			新任転入等養護教諭研修会	4月	養護教諭	市	1	6
			新任転入等学校事務職員研修会	7, 9, 10月	学校事務職員	市	3	25
			公立小中学校等臨時的任用教員研修会	7月	臨時的任用教員	市	2	197
		教職員経験者研修	川越市立小学校5年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	209
			川越市立中学校5年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	103
			川越市立高等学校5年経験者研修	6～12月	教諭等	県	—	—
			川越市立特別支援学校5年経験者研修	6～12月	教諭等	県	—	—
			養護教員5年経験者研修	4～10月	養護教諭	県	5	15
			学校栄養職員等5年経験者研修	4～10月	学校栄養職員等	県	5	5
			川越市立小学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	180
			川越市立中学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	96
			川越市立高等学校10年経験者研修	通年	教諭等	県	—	—
			川越市立特別支援学校10年経験者研修	通年	教諭等	県	—	—
			養護教員10年経験者研修	通年	養護教諭	県	—	—
			学校栄養職員等10年経験者研修	通年	学校栄養職員等	県	—	—
			川越市立学校20年経験者研修	5～2月	教諭等	市	2	26
		特別支援教育新担当教員研修	特別支援学級新担当教員研修会	5, 8, 10月	教諭等	県	4	32
			通級指導教室新担当教員研修会	4～8月	教諭等	県	5	10
	2 管理職等研修	管理職候補者研修	校長候補者研修会（1、2年次以降）	7月, 随時	教頭等	県	2	24
			教頭候補者研修会（1、2、3年次以降）	6～11月	教諭等	県	9	141
		新任等管理職研修	新任校長・教頭事前研修会	3月	教頭・主幹教諭・教諭等	県	1	17
			新任校長・教頭研修会	5～12月	校長・教頭	県	6	51
		管理職研修	校長研修会	随時	校長	市・県	1	56
			教頭研修会	随時	教頭	市・県	1	56
			一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会	8月	教頭	市	1	55
			生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会	7, 8, 2月	校長・教頭	市	3	168
	3 職能別研修	非常勤職員等研修	特別支援教育支援員研修会	7月	支援員等	市	1	109
			特色あるさわやか相談室づくり研修会	4, 7, 12月	相談員	市	3	63
			魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会	4, 7, 9, 1月	図書整理員	市	4	148
			英語指導助手研修会	通年	英語指導助手	市	12	55
		主幹教諭研修	主幹教諭研修会	5, 8, 1月	主幹教諭	市	3	30
		教務主任研修	教務主任研修会	5, 8, 10, 1月	教務主任	市	4	107
		学校事務職員研修	学校事務職員研修会	8月	学校事務職員	市	1	86
		栄養教諭・学校栄養職員研修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	7月	栄養教諭・学校栄養職員	市	1	11
		初任者研修拠点校指導教員等研修	拠点校指導教員等研修会	4, 6, 10, 11, 2月	拠点校指導教員等	市	6	185
		学校保健	養護教諭研修会	4, 8, 10, 3月	養護教諭	市	5	233
			保健主事研修会	4, 8月	保健主事	市	2	101

Ⅱ 学校教育 教育センター

分類			研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数
Ⅰ 基本研修	3 職能別研修	道徳教育	道徳教育推進教師研修会	5, 2 月	道徳教育推進教師等	市	2	54
		特別支援教育	特別支援教育コーディネーター養成研修会	5, 8, 1 月	特別支援教育コーディネーター等	市	3	156
			就学相談担当者研修会	5 月	就学相談担当者等	市	1	49
			特別支援学級担任研修会	7 月	特別支援学級担任	市	1	54
			通級指導教室担当者研修会	4, 7, 3 月	通級指導教室担当者	市	3	27
			難聴・言語障害研修会	8 月	難聴言語障害通級指導教室担当者	市	1	21
		教育相談	学校教育相談コンサルテーション研修会	5, 10 月	教育相談担当者等	市	2	97
		学校図書館教育	子ども読書活動推進研修会	8 月	司書教諭等	市	1	53
		情報教育	管理職のための ICT 活用研修会	5 月	校長・教頭	市	1	49
			情報化推進リーダー研修会	7, 10 月	情報化推進リーダー等	市	2	181
		進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育研修会	8 月	進路・キャリア担当者等	市	1	54
Ⅱ 専門研修	1 重点研修	教科全般	学力向上研修会	4 月	教諭等	市	1	52
		理科	理科指導力向上研修会	8 月	教諭等	市	1	39
		保健体育科	保健体育科授業づくり研修会	8 月	保健体育科教諭等	市	1	19
			中・高等学校体育実技指導者講習会	6 月	保健体育科教諭等	県	2	16
		体育・保健体育科	体力向上全体研修会	2 月	体育・保健体育主任等	市	1	71
		生徒指導	生徒指導主任研修会	7 月	生徒指導主任等	市	1	56
		人権教育	人権教育主任研修会	5 月	人権教育主任等	市	1	56
			人権教育授業研究会	10 月	教科主任等	市	2	55
			男女平等教育研修会	7 月	教務主任等	市	1	55
		環境教育	環境教育研修会	7 月	環境教育主任等	市	1	54
		国際理解教育	国際理解教育研修会	7 月, 10 ~ 2 月	国際理解教育主任等	市	2	110
		小学校外国語活動	小学校外国語活動指導者研修会	8 月	小学校教諭等	市	2	64
		英語科	英語科授業づくり研修会	7 月	中学校教諭等	市	2	42
		幼年期教育	子どものよりよい成長を考える研修会	8 月	教諭等	市	1	56
		食育	食に関する指導法研修会	7 月	教諭等	市	1	55
		学級経営	指導力スキルアップ研修会	5 ~ 1 月	採用 2 年目教諭等	市	2	118
		学習指導	市立高等学校教員進学指導力向上研修会	8 月	市立高等学校教諭	市	1	2
		家庭・地域連携	保護者とともに考える研修会	5, 10 月	教諭等保護者	市	2	17
		情報教育	パソコンホームページ更新研修会	5 月	情報教育主任等	市	1	54
	2 教科等研修 奨励研修	生徒指導	薬物乱用防止教育研修会	7 月	生徒指導主任保健主事等	市	1	54
		特別支援教育	特別支援教育指導法研修会	8 月	採用 3 年目教諭等	市	1	51
		情報教育	ICT スキルアップ研修会	7, 8 月	採用 4 年目教諭等	市	1	53
		国語科	国語科授業づくり研修会（国語力向上コース）	7 月	教諭等	市	1	32
			国語科授業づくり研修会（読書指導コース）	7 月	教諭等	市	1	33
		社会科	社会科授業づくり研修会（副読本活用コース）	5 月	教諭等	市	1	12
			社会科授業づくり研修会（授業づくり基礎コース）	8 月	教諭等	市	1	12
		算数・数学科	算数・数学科授業づくり研修会（数学的な思考力・表現力コース）	5 月	教諭等	市	1	12
			算数・数学科授業づくり研修会（楽しい授業づくりコース）	7 月	教諭等	市	1	36
			算数・数学科授業づくり研修会（個に応じた指導コース）	8 月	教諭等	市	1	23
		理科	理科授業づくり研修会（新しい授業づくりコース）	8 月	教諭等	市	1	10
			理科授業づくり研修会（観察・実験指導コース）	8 月	教諭等	市	1	29
			理科授業づくり研修会（教材研究コース）	7 月	教諭等	市	1	5
		英語科	AET と楽しむ英会話研修会	8 月	教諭等	市	1	17
		生活科	学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会	7 月	小学校教諭等	市	1	7
		音楽科	楽しい音楽科授業づくり研修会	7 月	教諭等	市	1	24
			やさしい和楽器実技研修会	8 月	教諭等	市	1	36
		図画工作・美術科	楽しい図工・美術科授業づくり研修会（教材づくりコース）	8 月	教諭等	市	1	14
			楽しい図工・美術科授業づくり研修会（アートカード活用コース）	8 月	教諭等	市	1	11

分類			研修会名		実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数
Ⅱ 専門研修	2 奨励研修	教科等研修	技術・家庭科	楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（技術分野コース）	8月	教諭等	市	1	3
				楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（家庭分野コース）	8月	教諭等	市	1	7
		体育・保健体育科	体力と運動技能を高める指導法研修会	7月	教諭等	市	1	15	
			体育科授業づくり研修会	8月	小学校教諭等	市	1	9	
		領域等研修	道徳	豊かな心を育てる道徳教育研修会	7,2月	教諭等	市	2	44
			特別活動	望ましい人間関係づくり研修会	5,8,10月	教諭等	市	3	50
			教育相談	生徒指導・教育相談初級研修会	7,8月	教諭等	市	3	26
				生徒指導・教育相談中級研修会	7,8,10,11月	教諭等	市	9	101
				生徒指導・教育相談上級研修会	4～1月	教諭等	県	11	33
			情報教育	やさしいパソコン操作Ⅰ研修会（ワープロコース）	7月	教諭等	市	1	9
				やさしいパソコン操作Ⅱ研修会（表計算コース）	7月	教諭等	市	1	47
				パソコンプレゼンテーションⅠ研修会（基本作成コース）	8月	教諭等	市	1	18
				パソコンプレゼンテーションⅡ研修会（応用作成コース）	8月	教諭等	市	1	24
	パソコンホームページ作成研修会			8月	管理職教諭等	市	1	12	
	授業に役立つパソコンⅠ活用研修会（ICTを活用した授業づくりコース）			8月	教諭等	市	1	35	
	授業に役立つパソコンⅡ活用研修会（情報モラル指導コース）	8月		教諭等	市	1	16		
	教育課題研修	生徒指導	学級経営研修会	6,8月	教諭等	市	3	31	
			教師のための話し方スキルアップ研修会	8月	教諭等	市	1	33	
			不登校児童生徒サポート研修会	5,11月	教諭等	市	2	22	
		特別支援教育	発達障害の理解と指導法研修会	5,8月	教諭等	市	3	51	
	3 特色ある教育推進研修	地域学習推進	やまぶき夢プラン「かわごえ異業種体験研修」	8月	教諭等	市	5	9	
			川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー	8月	教諭等	市	2	104	
			博物館活用指導者研修会	11月	教諭等	市	1	55	
			授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	8月	教諭等	市	1	16	
		特色ある学校づくり推進	特色ある学校づくり研修会（総合的な学習の時間）	8月	教諭等	市	1	55	
			今日的な教育課題の解決を考える研修会	7月	教諭等	市	1	54	
Ⅲ 特別研修		1 派遣研修	長期研修教員等派遣研修	長期研修教員等派遣研修	通年	教諭等	県	1年間	1
	大学院大学派遣研修			通年	教諭等	県	—	—	
	在外教育施設派遣研修		在外教育施設派遣研修	通年	教諭等	国	—	—	
	中央研修		教員研修センター中央研修	随時	教諭等	国	1年間	1	
	2 県会教育研修委	学校と社会の相互交流事業	民間企業等派遣研修	随時	教諭等	県	—	—	
		特定研修	県立総合教育センター特定研修	随時	教諭等	県	80	313	
		専門研修	県立総合教育センター等専門研修	随時	教諭等	県	9	10	
	3 要請研修	県等主催研修	県教育局各課等における主催研修事業	随時	教諭等	県	70	486	
		訪問指導研修	訪問指導研修	随時	教諭等	市	37	765	
		来訪指導研修	来訪指導研修	随時	教諭等	市	8	8	
	4 特別講習	教育センター研修	教育センター研修	随時	教諭等	市	25	86	
			学校保健	学校環境衛生検査器具取扱い講習会	8月	新任・転入養教・保健主事	市	1	16
				応急手当普及員講習会	8月	教諭等	市・消	3	15
		応急手当普及員再講習（平成21年度取得者）		8月	教諭等	市・消	1	22	
		教職員健康推進	教職員健康増進研修会	8月	教諭等	市	1	54	
		動物飼育	小学校動物飼育講習会	6月	教諭等	市	1	32	
		学校保健	就学時健康診断等に関する講習会	8月	就学時健康診断等担当者	市	1	62	
			学校歯科保健指導者講習会	11月	養護教諭	市	1	52	
			普通救命講習会	5月	教諭等	市	2	48	
			学校プール管理講習会	5月	教諭等	市	1	54	
	体育・保健体育科	小学校体育実技指導法講習会（水泳）	6月	教諭等	市	1	34		

※対象：対象とする教職員の職名等を表している。

※主催：消＝消防署

※—：不参加の研修を表している。

(2) 情報教育の推進

【平成 26 年度事業予定】

- ・児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努める。
- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、計画的にコンピュータ等の機種更新に努めるとともに、電子黒板やデジタル教科書、実物投影機等の効果的な活用について、先進的な研究を行う。
- ・教育の情報化に対応するため、普通教室でのインターネット接続を目指した校内LANについて、導入に向けた研究を推進する。
- ・教職員のICT活用指導力の向上を図るため、教職員研修の充実に努める。

【平成 25 年度事業実績】

- ・ICT機器の効果的な活用について各種研修会を実施し、教員の操作技術の向上を図った。
- ・学力向上を目的とし、小学校 24 校の教育用コンピュータを更新した。また小・中学校全 54 校の校務用パソコンと文書サーバを更新し、校務の効率化を図った。
- ・電子黒板やデジタル教科書等周辺機器の効果的な活用を図るために、授業研究会を中心に研究を進めた。
- ・情報モラルについて正しい知識を身に付け、児童生徒へ指導できるよう研修内容の充実に努めた。

(3) 英語指導助手（AET）の配置事業の充実と活用

【平成 26 年度事業予定】

- ・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、市立小・中・高等学校に配置されている英語指導助手の指導力の向上を図る。
- ・小学校での学級担任教員との外国語活動や中・高等学校での英語担当教員との共同授業において、英語指導助手をより効果的に活用できる配置を進めていく。
- ・英語指導助手（AET）の効果的な活用、教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の 4 技能のバランスを取りながら、体験的・実践的な英語教育の充実に推進していく。

【平成 25 年度事業実績】

- ・現地採用 3 人、KET 2 人、派遣契約 16 人の英語指導助手（AET）を配置した。

< 訪問実績 >

- ・英語指導助手（AET）21 人
- ・AETの共同授業による 1 日平均授業時数（時間） 小学校 4.40 中学校 3.78
- ・AETの 1 校あたりの年間訪問日数（日） 小学校 27.3 中学校 88.2
- ・AETの年間全訪問日数（日）
小学校 874 中学校 1,940 市立川越高等学校 135 合計 2,949

英語指導助手配置状況の推移

（単位：人）

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
JET	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KET	1	2	2	3	3	3	3	5	5	6	7	7	8	10	8	8	5	3	3	3	3	3	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	5	5	5	4	5	3	3
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	11	13	13	13	13	14	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16
合計	2	3	3	4	4	4	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	21	21	21

※ JET（語学指導等を行う外国青年招致事業） KET（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学 校 名	教 科 等	発表予定日	研 究 主 題
①川越第一小学校	理 生 活 科	平成26年 10月31日(金)	「個性を伸ばし、創造性を育む学習指導の充実」 ～体験的な活動を通し、思考力・表現力を伸ばす理科・生活科指導の工夫～
②月越小学校	体 育 科	平成26年 10月28日(火)	「豊かな心とたくましい体の育成」 ～仲間と豊かに学び、高め合う体育科授業を通して～
③南古谷小学校	体 育 科	平成26年 11月25日(火)	「たくましい体と豊かな心をもつ、南古谷っ子の育成」 ～学習意欲を高め、運動の楽しさを味わう体育科指導の工夫～
④大東東小学校	算 数 科	平成26年 10月17日(金)	「学びのよさを味わえる子どもの育成」 ～算数科における指導法の工夫・改善を通して～
⑤霞ヶ関小学校	理 生 活 科	平成26年 11月11日(火)	「わかる喜び、できる楽しさを味わい、自ら進んで学ぶ子の育成」 ～学びあい、高めあう理科・生活科の授業を通して～
⑥霞ヶ関南小学校	図画工作科	平成27年 1月20日(火)	「いきいき表現 育てよう確かな力」 ～一人一人の願いや思いを大切に、豊かな表現のできる児童の育成～
⑦山田小学校	体 育 科	平成26年 11月5日(水)	「進んで運動に取り組む運動好きな山田っ子の育成」 ～仲間と豊かにかわり、「できる」「わかる」「のびる」学習指導の工夫～
⑧高階西中学校	教 科 指 導	平成27年 1月27日(火)	「一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究」 ～生徒一人一人の意欲を引き出す「わ・た・しの授業」実践を通して～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学 校 名	教 科 等	研 究 主 題
①川越小学校	国 語 科 理 科 特 別 活 動	「豊かなかわり合いを通して、進んで活動できる児童の育成」
②新宿小学校	国 語 科	「子どもがうれしくなる国語科指導」
③今成小学校	体 育 科	「自ら夢中で取り組む、運動好きな今成っ子の育成」 ～仲間と豊かに関わり、笑顔と汗があふれる授業を目指して～
④牛子小学校	特 別 活 動	「主体的に活動できる心豊かな児童の育成」 ～認め合い、高め合う学級活動を通して～
⑤高階小学校	道 徳	「人とかかわりを大切に、よりよく生きようとする子どもの育成」
⑥上戸小学校	国 語 科	「伝え合い、学び合う子どもの育成」
⑦川越第一中学校	生 徒 指 導	積極的な生徒指導の推進「生徒のよさを活かし、伸ばす指導法の工夫」

※委嘱学校研究は2年計画で行っている。

2年目の8校は平成25、26年度の委嘱学校研究校、1年目の7校は平成26年度からの委嘱学校研究校

5. 教育センター分室（リベラ） Tel:049-234-8333 E-mail:riviera@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名 称 川越市立教育センター分室（リベラ）
 (2) 所在地 川越市的場 2649 - 1（電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337）
 (3) 沿 革

昭和 39 年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設
 昭和 53 年 中央小学校内に移設（川越小学校校舎改修のため）
 昭和 55 年 初雁中学校内に移設（中央小学校校舎改修のため）
 昭和 56 年 川越小学校内に移設（川越小学校新築に伴い）
 昭和 58 年 電話相談室を川越小学校内に開設
 平成 元 年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設
 平成 6 年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設
 平成 12 年 川越市教育総合相談センター（リベラ）の開設
 平成 15 年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる
 平成 22 年 川越市立教育センター分室（リベラ）の開設

(4) 設置の目的

児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。

(5) 教育相談の内容等

① 相談内容

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ・ことばや発達の遅れに関するもの | ・精神的な不安や身体に関するもの |
| ・性格や行動に関するもの | ・学齢期のしつけ等に関するもの |
| ・不登校傾向など学校への不適応に関するもの | ・非行・問題行動に関するもの |
| ・その他 | |

② 相談受理対象者

川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員

③ 相談日時

月曜日から金曜日（祝日を除く）、（受付時間 午前 9 時～午後 5 時）

④ 電話相談

月曜日から金曜日（祝日を除く）、（受付時間 午前 9 時～午後 4 時）

⑤ いじめ相談直通電話

月曜日から金曜日（祝日を除く）、（受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分）
 土曜日・日曜日・祝日（12 月 29 日～1 月 3 日を除く）、（受付時間 午前 9 時～正午）

⑥ いじめ相談電子窓口

川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

⑦ 適応指導教室（小学生及び中学生対象教室）

<開設日及び開設時間>

- ・開 設 日 月曜日から金曜日（祝日を除く）
- ・開設時間 午前 9 時 30 分～午後 3 時

＜通室までの手順及び手続き＞

- ・直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定

（１）教育相談の充実

【平成 26 年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みを持つ児童生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター分室（リバーラ）の臨床心理士など、専門的知識を有する人材を活用し、小・中学校の児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

【平成 25 年度事業実績】

- ・リバーラにおける教育相談の延べ件数は、3,359 件あった。その内面接相談の件数 2,995 件、電話相談 198 件、いじめ相談直通電話 44 件、いじめ相談電子窓口 3 件、火曜・金曜相談 119 件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に 1 人ずつ配置したさわやか相談員が、小・中学生、その保護者等延べ 10,685 人の相談に対応した。
- ・週 1 回から 2 週間に 1 回の割合で配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて 5,046 回の相談を行った。

（２）いきいき登校サポートプランの推進

【平成 26 年度事業予定】

- ・全市立小中学校における不登校問題の解消に向けて、地元の大学で心理学を学ぶ学生による不登校児童生徒の支援（スチューデント・サポーター）を行う。活動内容は学校の相談室等における会話・相談や家庭訪問等で、学校、専門家、地域が連携し、「いきいき登校サポートプラン」を更に推進する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・19 人の学生が延べ 320 回の活動を行った。
- ・臨床心理士を年間 45 回、教育センター分室（リバーラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できた。

（３）特別支援教育の充実

① 就学支援委員会の充実

【平成 26 年度事業予定】

- ・小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人ひとりのニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、学識経験者、医師、学校教育機関の代表者、関係行政機関の職員で構成する就学支援委員会の充実を推進していく。

【平成 25 年度事業実績】

- ・就学支援が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取りを通して、状況を的確に把握し就学先を判断した。その際、情報収集に努め、再度諸検査を実施したり、更に聞き取りを行ったりした。
- ・判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、適正な就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 44 回（ほか臨時 15 回） 就学相談実施人数 266 人

② 特別支援教育支援員の配置

【平成 26 年度事業予定】

- ・校内の特別支援教育体制を充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常の学級における支援の推進に努める。
- ・小・中学校に設置している特別支援学級の児童生徒や通常の学級にいる車椅子等の障害のある児童生徒一人ひとりの障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努める。

【平成 25 年度事業実績】

- ・通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・高機能自閉症等の発達障害があるなどの個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数が増えた。
- ・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて 1～2 日の範囲で、自立支援サポーターをすべて配置した。
- ・対応した児童数 805 人 対応した生徒数 69 人
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は増加しており、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学校名	さわやか相談室電話番号(直通)	学校名	さわやか相談室電話番号(直通)
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富 士 見 中 学 校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川 越 西 中 学 校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	2	中 央 小 学 校	1
大 塚 小 学 校	2	月 越 小 学 校	1
古 谷 小 学 校	1	南 古 谷 小 学 校	1
高 階 小 学 校	1	高 階 南 小 学 校	1
高 階 北 小 学 校	3	霞ヶ関小 学 校	2
霞ヶ関南小 学 校	1	霞ヶ関西小 学 校	1
名 細 小 学 校	2	山 田 小 学 校	1

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初 雁 中 学 校	2	富 士 見 中 学 校	2
東 中 学 校	1	高 階 中 学 校	2
寺 尾 中 学 校	1	霞ヶ関中 学 校	2
霞ヶ関西中 学 校	1	名 細 中 学 校	1

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	1	中 央 小 学 校	1
大 塚 小 学 校	1	月 越 小 学 校	1
南 古 谷 小 学 校	2	高 階 小 学 校	2
高 階 南 小 学 校	1	高 階 北 小 学 校	2
霞ヶ関小 学 校	1	霞ヶ関西小 学 校	1
名 細 小 学 校	2	山 田 小 学 校	1

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初 雁 中 学 校	1	富 士 見 中 学 校	1
高 階 中 学 校	2	寺 尾 中 学 校	1
霞ヶ関中 学 校	1	名 細 中 学 校	1

3. 弱視特別支援学級：視覚に障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
大 塚 小 学 校	1

4. 肢体不自由学級：身体に関する障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
中 央 小 学 校	1

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川 越 小 学 校 内	3	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童 通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
中 央 小 学 校 内	2	
高 階 小 学 校 内	2	
霞ヶ関小 学 校 内	1	
富士見中 学 校 内	1	

特別支援学校

- 昭和 39 年 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
 昭和 47 年 4 月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
 平成 22 年 4 月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみにっている。）

6. 市立川越高等学校 Tel:049-243-0800 E-mail:kawagoekou@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名 称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町 2-3-7 (電話 243-0800・ファクス 247-6828)
- (3) 沿 革

市立川越高校は、平成 14 年度に川越商業高校から校名変更し、普通科・情報処理科・国際経済科に再編してから 12 年になる。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が 70% 程度となり、商業系学科では「川商」創立から 89 年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は 2 万 4 千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

(1) 学科編制の推進

【平成 26 年度活動予定】

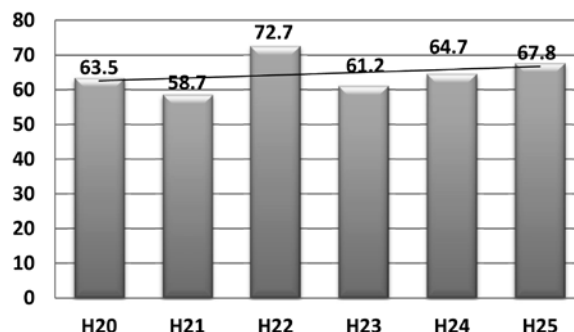
- ・平成 24 年度の 1 年生から導入したすべての学科の 35 人少人数学級編制及び入学者選抜における地域特別選抜を引き続き実施する。
- ・3 年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【平成 25 年度活動実績】

- ・市内生の比率 35.1%

進路指導実績

(普通科大学・短大現役進学率)



○主な進学先 (平成 26 年 3 月卒 普通科)

埼玉大、早稲田大、立教大、明治大、中央大、法政大、日本大、東洋大、駒澤大、獨協大、専修大、國學院大、武蔵大、女子栄養大、拓殖大、東京電機大、東京経済大、大東文化大、他

○主な就職先 (平成 26 年 3 月卒 商業系学科)

(株)武蔵野銀行、いるま野農協、埼玉中央農協、埼玉縣信用金庫、国際興業(株)、(株)ロッテ、飯能信用金庫、川口信用金庫、ブリヂストンサイクル(株)、セブンイレブンジャパン(株)、埼玉県警、東京消防庁、他

(2) 部活動の充実

【平成 26 年度活動予定】

- ・文化部和運動部で合計 33 部が、より高い水準をめざして活発に活動をしている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

【平成 25 年度活動実績】

- ・バレーボール部
関東高等学校女子バレーボール大会出場（39 年連続 40 回目）
全国高等学校総合体育大会女子バレーボール大会出場（2 年連続 32 回目）
全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選第 3 位
- ・野球部
全国高等学校野球選手権埼玉大会ベスト 8
秋季埼玉県高等学校野球大会準優勝（関東大会出場：33 年ぶり 3 回目）
第 86 回選抜高校野球大会 21 世紀枠埼玉県候補
- ・O A 部（ワープロ競技）
埼玉県高校ワープロ競技大会個人優勝全国大会出場（40 回以上）
- ・吹奏楽部
第 54 回埼玉県吹奏楽コンクール高等学校 B の部地区大会金賞 県大会銅賞
- ・バスケットボール部
関東高等学校女子バスケットボール大会県予選ベスト 8
全国高等学校総合体育大会女子バスケットボール大会県予選ベスト 8
ウインターカップ県予選ベスト 8
- ・ソフトボール部
県新人大会第 6 位（関東公立高校大会出場）

(3) 中高連携の推進

【平成 26 年度活動予定】

- ・市内中学校 3 校（城南中、野田中、大東中）と市立高等学校では、川越市の教育の一層の充実を図るため中高連携に取り組んでいく。職員、生徒、保護者の連携を図り、特色ある教育活動を通して、その検証結果をもとに、市内中学校や高等学校に、その成果を普及させ、更なる先導的な役割を果たしていく。

【平成 25 年度活動実績】

- ・高校の授業を理解してもらい、進路指導の一助にしてもらうため、中学校へ本校の職員が出向き、中学生向きの出前授業を実施した。また、小学生と高校生との交流や小学生への出前授業も平成 25 年度から実施している。
- ・中学 3 年生を対象に、市内 13 校において出前授業を行った。
- ・城南中学校の 2 年生全員に本校の教員による模擬授業や校内見学を本校で実施した。
- ・本校の女子バスケットボール部が大塚小 6 年生にバスケットボールの指導を行い、交流した。
- ・本校理科教諭 2 人が新宿小 5・6 年生に対し、理科（実験を中心）の出前授業を行った。

1. 地域教育支援課 Tel:049-224-6086 E-mail:chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 青少年教育

① ジュニアリーダースクール

【平成 26 年度事業予定】

- ・子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・開催日 6月9日、7月7日、8月18日、9月8日、10月6日 受講者数 109人

② 子ども会インリーダー・育成者研修事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・子ども会、育成会会員の資質向上を図るため、子ども会インリーダー・育成者研修事業を委託する。
- ・委託先 川越市子ども会育成団体連絡協議会

【平成 25 年度事業実績】

- ・子ども会育成事業 委託団体数 28団体 事業数 135回

③ 育成者研修会

【平成 26 年度事業予定】

- ・子ども会育成者としての資質向上と単位子ども会活動の振興を図る。

【平成 25 年度事業実績】

- ・開催日 5月11日、3月1日 延べ受講者数 700人

④ 棚倉町交流事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・友好都市交流事業に参加することにより、他県環境に親しみ、視野を広め協調性・自主性を育て健全なる成長に資する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・開催日 8月24日・25日 受講者数 16人

⑤ 子ども会かるた大会

【平成 26 年度事業予定】

- ・子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」をもとに競技を行う。なお団体・個人とも上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競いあうとともに、交流を深めることを目的とする。